



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 株式会社パピレス

上場取引所 東

コード番号 3641 URL <https://papy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井康子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 須永喜和

TEL 03-6272-9533

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,826	12.8	720	64.5	806	59.8	490	63.9
2021年3月期第3四半期	18,157		2,032		2,004		1,358	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 500百万円 (62.8%) 2021年3月期第3四半期 1,345百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	50.41	50.19
2021年3月期第3四半期	137.83	137.03

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の2021年3月期第3四半期の連結業績は当該基準等を遡及適用した後の金額となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	13,600	8,746	63.8
2021年3月期	15,191	9,055	59.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 8,680百万円 2021年3月期 8,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		10.00	10.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,215		1,154		1,156		757		76.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該基準等を適用した後の金額となっており、対前年増減率は記載していません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	10,326,880 株	2021年3月期	10,326,880 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	980,094 株	2021年3月期	441,694 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	9,726,062 株	2021年3月期3Q	9,856,607 株

(注)「期末自己株式数」には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2022年3月期3Q 190,000株、2021年3月期 230,000株)が含まれています。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数(2022年3月期3Q 209,927株、2021年3月期3Q 250,073株)に含めています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、当社グループの事業は電子書籍事業のみであり、重要な事業拠点も当社のみとなっているため報告セグメントはありません。

なお、第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用する会計方針の変更を行っており、遡及適用後の数値で比較分析を行っています。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、個人消費は弱い動きとなっています。

電子書籍の市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2021」によると、2020年度は4,821億円と推計されています。

前連結会計年度の前半は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出自粛による巣ごもり消費の影響等によって需要が増加しましたが、後半以降は、感染拡大の長期化による社会情勢が、ユーザーの購買行動に影響を及ぼしています。また、海賊版サイトの不正利用も急増し、市場全体に深刻な影響を与えています。

市場参入企業も多く、厳しい競争が続くなかで、コンテンツ需要の増加による、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コストの上昇や、集客を強化するための、広告宣伝や販促コストも拡大傾向となっています。

このような環境の中で、当社グループは、顧客第一主義の基本理念に基づく、サービスの向上施策、及び他社との差別化を図るためのブランド戦略施策を実施しました。

サービス向上施策については、レンタル販売方式の拡充を進めました。ブランド戦略を目的とした広告宣伝は、中長期的な事業拡大を目指して、積極的に先行投資を実施しました。

また、ユーザーへの還元を目的とした販売促進施策も積極的に行いました。

さらに、将来、市場が拡大すると予測される英語圏や中国語圏を中心とした海外事業への投資強化、及び次世代コンテンツの開発強化を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は15,826百万円（前年同四半期比12.8%減）、営業利益は720百万円（前年同四半期比64.5%減）、経常利益は806百万円（前年同四半期比59.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は490百万円（前年同四半期比63.9%減）となりました。

以下、当第3四半期連結累計期間における主な活動状況を報告します。

(集客施策)

「Renta!」の認知度向上のため、TVCM、インターネット広告等の広告施策を積極的に実施し、ブランドの向上に努めました。TVCMでは、全国放送中のTVCMの内容の刷新、「恋はDeepに」等のTVドラマ放送との番組連動CM等を実施しました。動画では、業界初のVTuber／バーチャルライバーグループとのライブ配信イベントの実現、海外ユーザーもターゲットにした世界同時配信による著名作家とのオンラインイベント等を行っています。

また、ポイントによる販促キャンペーン企画も積極的に行い、ユーザーの獲得を目指しました。

(サイト改良施策)

「Renta!」のレンタル価格が、配信日からの期間に応じて、「新作レンタル」⇒「準新作レンタル」⇒「レンタル」と変動する新サービスを、業界で初めて導入しました。

また、検索時において、「みんなの感想」、「詳細ジャンル」、「属性ジャンル」、「読み方」、「人気キーワード」等をカスタマイズして探すことができる、こだわり機能を導入し、ユーザビリティの向上を進めています。

(オリジナルコンテンツ施策)

自社オリジナルのコミックレーベル「Rentaコミックス」の作品として、TVドラマ「恋はDeepに」の原作をもとに、ドラマと異なる視点で描いたコミカライズ版、TVドラマ「あのときキスしておけば」のコミカライズ版の先行配信を行いました。

また、新しく自社オリジナルのライトノベルレーベル「Rentaノベルス」を開始しました。

さらに、「Rentaコミックス」のオリジナルマンガレーベル「COMICスピア」よりリリースする作品の、コミカライズ原作コンテストを、「小説家になろう」と共同で実施しています。

(次世代コンテンツ開発施策)

タテ読みフルカラーコミック「タテコミ」の拡充を進めています。コミックのカラー化の制作時間とコストを削減するため、ピクシブ株式会社と株式会社Preferred Networksとの線画自動着色サービスの共同開発に協力し、試験導入を実施しました。

また、マンガにモーションと音声を付加し、スマートフォンでの視聴に最適のタテ型アニメーション形式の動画コンテンツ「アニコミ」について、声優事務所とのコラボレーションによる新シリーズの配信を開始しました。

(海外展開施策)

海外直営販売サイトの「英語版Renta!」、「中国語繁体字版Renta!」の売上拡大を目指して、集客、サイト改良、コンテンツの拡充を進めています。コンテンツについては、翻訳クオリティの担保と制作工数の削減を目指して、AIの試験導入を開始し、翻訳強化を図りました。

また、海外取次会社AAG（アルド・エージェンシー・グローバル株式会社）を通して、直営以外の英語圏や中国語繁体字圏の海外販売サイトにも販路を拡大しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は13,600百万円（前連結会計年度末比10.5%減）となりました。

流動資産は12,681百万円（前連結会計年度末比11.2%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金10,119百万円、売掛金1,848百万円です。

固定資産は918百万円（前連結会計年度末比1.4%増）となりました。主な内訳は、投資その他の資産876百万円です。なお、重要な設備の新設及び除却はありません。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は4,854百万円（前連結会計年度末比20.9%減）となりました。

流動負債は4,852百万円（前連結会計年度末比20.9%減）となりました。主な内訳は、買掛金2,503百万円、未払金778百万円、前受金1,377百万円です。

固定負債は1百万円（前連結会計年度末比263.1%増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,746百万円（前連結会計年度末比3.4%減）となりました。主な内訳は、利益剰余金8,912百万円です。

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は63.8%（前連結会計年度末59.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年5月14日の「2021年3月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,836	10,119
売掛金	2,316	1,848
コンテンツ資産	21	17
その他	123	703
貸倒引当金	△11	△7
流動資産合計	14,284	12,681
固定資産		
有形固定資産	47	42
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産	858	876
固定資産合計	906	918
資産合計	15,191	13,600
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,861	2,503
未払金	1,051	778
前受金	1,262	1,377
未払法人税等	591	4
賞与引当金	107	58
株式報酬引当金	77	51
その他	183	78
流動負債合計	6,135	4,852
固定負債		
その他	0	1
固定負債合計	0	1
負債合計	6,135	4,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	414	414
資本剰余金	885	885
利益剰余金	8,523	8,912
自己株式	△818	△1,531
株主資本合計	9,004	8,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△9	△1
その他の包括利益累計額合計	△9	△0
新株予約権	21	26
非支配株主持分	38	39
純資産合計	9,055	8,746
負債純資産合計	15,191	13,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	18,157	15,826
売上原価	8,850	8,057
売上総利益	9,307	7,769
販売費及び一般管理費	7,274	7,048
営業利益	2,032	720
営業外収益		
受取利息	9	2
退会者未使用課金収益	3	2
投資事業組合運用益	—	5
為替差益	—	72
その他	0	3
営業外収益合計	13	87
営業外費用		
為替差損	41	—
その他	0	1
営業外費用合計	41	1
経常利益	2,004	806
税金等調整前四半期純利益	2,004	806
法人税、住民税及び事業税	697	297
法人税等調整額	△50	16
法人税等合計	646	314
四半期純利益	1,357	491
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,358	490

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,357	491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	△12	8
その他の包括利益合計	△12	8
四半期包括利益	1,345	500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,346	498
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

これにより、ユーザーに無償で付与していたサービスポイントについて、収益認識会計基準等の適用前は、その付与時に「販売促進費」として会計処理し、使用時に「売上高」として会計処理していましたが、収益認識会計基準等の適用後は、使用時に「売上値引高」と会計処理することとしました。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しています。

- (1) 前連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は1,241百万円減少し、売上総利益は1,241百万円減少し、販売費及び一般管理費は1,241百万円減少しています。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に変動はありません。なお、前連結会計年度の期首の純資産への累積的影響額はなく、利益剰余金の前期首残高に変動はありません。

また、収益認識会計基準等を適用したことによる、前連結会計年度の連結貸借対照表の変動はありません。